朝鮮の初夏[[1]](#footnote-1)

とつゝじの朝鮮の春はので、が五月の日光にふさはしい花をけるやうになるとはもうだ。もつともによつては、へばなどでは、春ととが一度にるやうな、つゝじととが一時にと咲きれては、また、よく、一の霜ににれることもある。しかしを中心にしてへばは五月と共に來るものだ。

岩躑躅も、もさかりがぎて、朝鮮ライラツクが、白やにい薰をつやうになれば、京城のには水色（朝鮮では玉色といふ）の、のを風にかせ、強くのいた紗のから汗ばんだをかしてゐる女のが見られる。これは朝鮮ののシムボルなのだ。

みにを景福宮やや、の森にいて見るがい。旣にではない、けやきや、とねりこのみのからの四綴音乃至五綴音のしいがかれるであらうし、もしくそののるを見守つてゐれば、に烏銅色のをした、高麗鶯がらく、女夫、實ににしかもすばしこく、と枝との間をうてびつ、隨ひつ飛び行くも見られるであらう。

四季ので、朝鮮でもつともしいのはんと言っても初夏だ。も秋もかいが初夏といふべきはい。四月のから、五月一と六月のまでの丸二月間がそれで、このにはがき、花から、へ、新綠から、へと實にかにって行く。人間も綿入からへ、袷から、の袷へ、そこからまた、へと、殆んどきちんきちんプログラムがんで行く。それにれてい心はふうわりときとなり、女はつてしさを增してるのである。や結婚の九はこのになされるのではないだらうか。

東京のは、五月の京城を一たゞけで、それがれられないといつては、五月になると京城にたいとよくつてゐるが、は朝鮮ののにしたのだ。

これは朝鮮ののからであらう。春夏秋冬の四季のりりがはつきりることゝ[[2]](#footnote-2)、から夏へのの期間がくて、種々のや温度のが、かにりげられることによるのだらう。

第一日光とからして、實にをぎるであって、うらゝかとは、朝鮮の五月六月ののことではないだらうか。にはんどがないで、或る英國ののきは、朝鮮の五月のと日光はりにがくて、がい程だとしさうな眼付きで、碧玉色の京城の空をちらつとるのであつた。は、くも三年に一年位は、英國のい、どんよりとしたの下でまなくては、がくまいと、ではなく、に、さうつてゐた。五月の空はにも、かに一種のをへる。英國人のやうな光のい國民にはさせる程のなのだらう。

京城の初夏のとしては、鮮魚では、に、に、さうしてでは春菊とであらう。蛤はににしてべるものだが、吸物として、又はのいてもべる。おいしい點ではの方がだ。

はさしておいしいではないが、朝鮮の西海岸ののためにはになくてならぬものだ。の明太魚にぶべきものである。吸物、、になるものであるが、にしてはののとなり、干乾にして、なとして大衆的である。明太や、や、こそは、朝鮮ののためにからへられたものである。

五月もぎて、がにする頃、「ジユンチ」と云ふの多い、そのにおいしい魚がれる。これも季節物だ。「ジユンチ」にしてがなかつたら、のにはらんだらうとはれるおいしいものだ。これも吸物やにしてべるが、そのは非常にされる。またにして、ぐちのをぐものである。

はさしてのい果物ではないが、その色やらかさにがある。これをって、清冽な冷水とを加へたものは、に初夏のととを同時にばせることが出來る。美人がを落すのを、「をる」といふのであるが、これはにして、一種のを感じる。

鳥では高麗鶯が、の女王であるが、朝鮮のなるへ行つても、かれる、山鳩のしい訴へや「ポクギ」鳥のといはうかといはうか、帛を裂くも朝鮮ののソプラノ‐ソロとはねばならぬ。

はよりも、朝鮮ではろによくかれるやうだ。僕は五月の始め頃、ので、とても愉快につてゐる雲雀をいたことがあるが、これはろしいことではないだらうか。八月の、楡岾寺から、高城につてた、殆んど一日中、雲雀のの中を歩いたことがある。しかしでは、晩春初夏にかれるものは、朝鮮語でといふの一種だ。これはが淡紅色で、のやうなをしてゐる、小さいで、聲はの雲雀よりも、で、との合の子といつたやうなひをする鳥だ。の部落では子供達にもの歌手だ。

さて六月、即ちの五月になつて、娘達がのおので、鞦韆に集まるとなると、朝鮮にれる[[3]](#footnote-3)。そして艾餅や等が京城人のお膳にるやうになると、もうではなくてだ。だ。

山の植樹がもつとびたら朝鮮のはもつとしいものになることゝふ。では京城そのでは樹相があまりにで、新綠の色合のさがしい。それに樹木がるやうになつたら小鳥もえることだらう。私はより二三百年後のの初夏をしみとしてゐる。そののはすばらしいものになりさうながする。には立派なになることであらう。けたのが見られなくてしいといふものもあるだらうか。（作家）（『観光朝鮮』1940年7月）

1. 李光洙。『観光朝鮮』1940年7月清夏号。日本旅行協会朝鮮支部出版。「清夏隨想」という見出しがついている。　　 [↑](#footnote-ref-1)
2. 「はっきりする」は「はっきりしている」の誤り。李光洙の日本語文には現在進行形を現在形にする傾向が見られる。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 「五月雨れる」は「五月雨が降る」の意。 [↑](#footnote-ref-3)